

# ナガバノイタチシダ

*Dryopteris sparsa* (Buch.-Ham. ex D.Don) Kuntze  
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では2か所で確認されているが、個体数も少なく産地局限と分布の北限にあたるので、県域絶滅危惧Ⅰ類とした。

## 分 布

全国分布は本州（千葉県以南）～琉球まで。県内分布は嶺北に生育。

## 種の特徴

常緑性のシダ類。葉の高さ90cm前後、葉柄は茶褐色を帯び、葉身は長楕円形で2～3回羽状、胞子のうは中肋寄り、包膜は円腎形で全縁。山地の林床や林縁に生育する。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、産地局限。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○					○				

# ホオノカワシダ

*Nothoperanema shikokianum* (Makino) Ching  
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内での確認地は1か所で、山地の湿った林縁に生育していたが、今回の調査では確認できなかった。

## 分 布

全国分布は本州～九州。県内分布はおおい町。

## 種の特徴

常緑性で、葉柄と葉身はほぼ同長、葉柄は20～50cmで鱗片を密生する。葉身は3回羽状深裂、羽片には短い柄がある。胞子のう群は小羽片の中間に付き、包膜はない。

## 生育を脅かす要因

森林伐採やシカの食害により減少。

参考文献 渡辺定路（2003）、岩槻邦男編（1992）、倉田悟・中池敏夫編（1979）、中池敏之（1982）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															

# カタイノデ

*Polystichum makinoi* (Tagawa) Tagawa  
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数ともに少ない。2地区のみ。ダム設置、道路補修等により確認されず絶滅危惧Ⅰ類とする。

## 分 布

全国分布は本州（関東地方以西）～九州まで。県内分布は嶺北地方に記録があるが、確認できない。

## 種の特徴

常緑性のシダ類。葉の表面は独特の金属性の光沢をもつ。葉柄下部の鱗片は黒褐色で広披針形状でかたい。胞子のうは中肋と辺の間で、葉は高さ60cm前後に達する。山地の林床のやや湿ったところに生育。

## 生育を脅かす要因

河川改修、道路改修、森林伐採、産地局限。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）  
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
												○				○	